

東北大学大学院会計専門職専攻 アドミッション・ポリシー

東北大学大学院会計専門職専攻（会計大学院）では、会計に関する基礎学力を有し、将来高度な分析能力を身につけ、国際的な場面で活躍する職業会計人となることを希望する人を求めます。会計分野の学識と実務的な知識を持ち、国際的視野とコミュニケーション能力を備え、高い職業倫理観をもって社会の発展に貢献できることを目指して育成を行います。また、実社会での経験を生かしながら、新たな問題意識をもって経済学や経営学を学びたい、職業会計人としての能力を向上させたい、という希望をもつ社会人を積極的に受け入れます。

会計専門職専攻・専門職学位課程

本課程には、公認会計士コース、会計リサーチコース、ビジネスアカウンティングコースがあります。以下の選抜を実施しますが、筆答試験では商学、経済学関係の学部水準の会計学の理解を確認し、口述試験では研究適性と教育理念の理解を確認します。試験の実施方法は選抜区分により異なりますが、各実施方法で所定の基準に達するのが必要なことは共通です。

一般選抜

試験の実施方法は筆答（全コース）と口述（会計リサーチコース及びビジネスアカウンティングコースのみ）です。公認会計士コースでは会計に関する基礎学力を重視し、会計リサーチコースとビジネスアカウンティングコースでは研究適性を重視します。

3年次学生を対象とする試験

大学3年次の在學生で優秀な成績を収めた者を対象にします。試験の実施方法や重視する項目は一般選抜と同じです。

東北大学経済学部生を対象とする試験

当学部を卒業見込で成績が優秀な学生を対象とし、大学院への進学目的が明確な学生を選抜します。試験の実施方法は口述と提出書類の審査です。研究適性と本学教育理念の理解を重視します。

自己推薦入試

会計リサーチコースとビジネスアカウンティングコースのみの選抜区分で、幅広いバックグラウンドの方（社会人、外国人及び当学部不在籍しない学生）を対象とします。試験の実施方法は口述と提出書類の審査です。研究適性を重視します。

なお、入学前に大学学部水準の会計学の知識を身につけておくことを希望します。